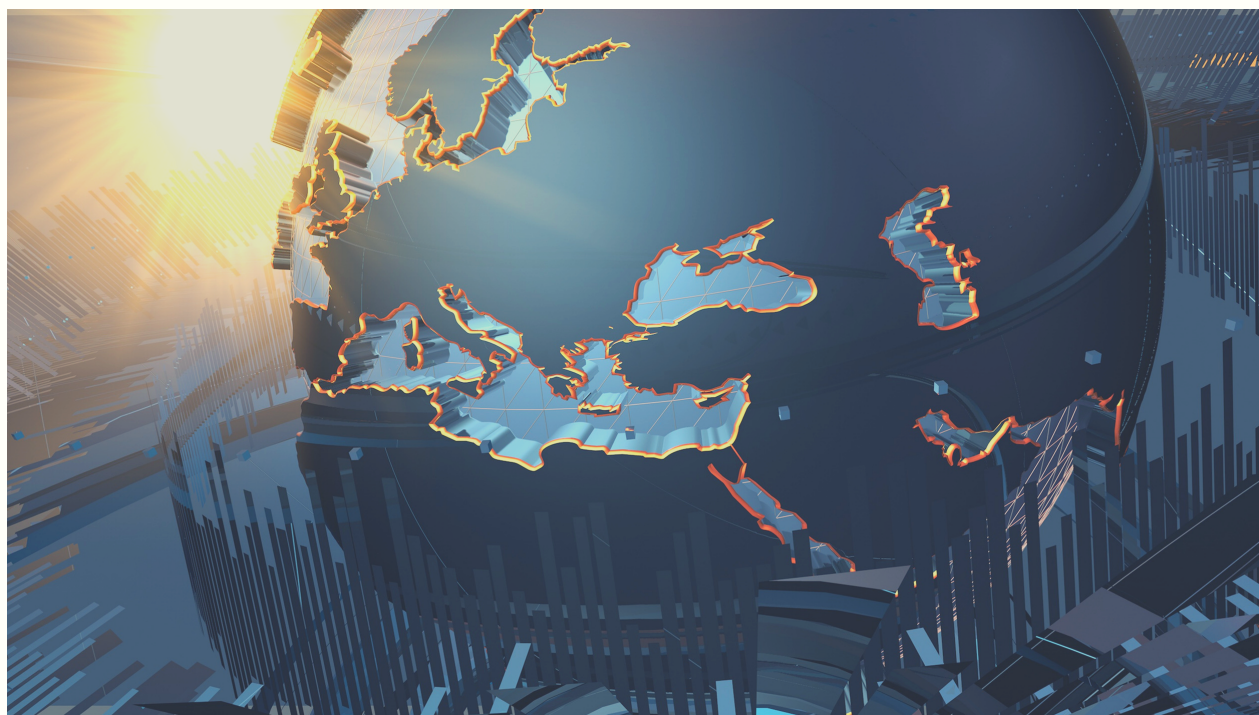


2019年3月 第21号



IRPA会報

放射線防護専門家のために、放射線防護専門家による



本号の目次:

- IRPA15に関する最新情報 - 2
- ロルフ シーベルト賞 - 3
- IRPA モントリオール基金 - 4
- 2019年HPSウィリアムモーガン講演賞 - 4
- 国際非電離放射線防護委員会 - 5
- 放射線防護協会 (SRP) - 英国の加盟学会 - 6
- ペルー放射線防護学会 - 7
- 会議とワークショップ - 8

IRPA出版委員会

委員長 Christopher Clement □副委員長 Bernard LeGuen □会報編集担当 Chunsheng Li & Ali Shoushtarian □加盟学会連絡担当 Adelene Gaw Website Managers Andy Karam & Chris Malcolmson □Social Media Managers Sven Nagels & Chris Malcolmson □Media Reviewers Sven Nagels, Young-Khi Lim, Takatoshi Hattori □Proceedings Advisor Haruyuki Ogino



IRPA15に関する最新情報

IRPA15 ICOC会長 JONG KYUNG KIM)

国際会議組織委員会 (ICOC) はIRPA15の準備と推進についてあなたに最新情報を提供します。過去3ヶ月間で、さまざまな分野で進捗しました。

- 要旨の提出は2019年6月1日から開始されます。詳細については、会議のウェブサイト (www.irpa2020.org) をご覧ください。
- 会議のソーシャルネットワークチャンネルが開かれました。FacebookやTwitter、Youtubeでニュースや最新情報を入手したり、自分のニュースを共有したりしてください。
- 企業と団体はIRPA15の出展者とスポンサーになることができます。スポンサーシップと展覧会の案内はすでにウェブサイトで公開されています、そしてウェブサイトで四半期毎のe-ニュースレターの申し込みを忘れないでください。IRPA15ニュースアラートから、最新情報を共有してください。
- IRPA15のプログラムについては、国際会議プログラム委員会 (ICPC) と密接に協力してドラフト版を作成しました。この日は空けておいてください、2020年5月11~15日に韓国ソウルでお会いしましょう!



プログラム一覧

	10 May (Sun)	11 May (Mon)	12 May (Tue)	13 May (Wed)	14 May (Thu)	15 May (Fri)
8:00		Refresher Courses Beginner 8:00-9:00	Refresher Courses Expert 8:00-9:00	Refresher Courses Beginner 8:00-9:00	Refresher Courses Expert 8:00-9:00	Refresher Courses Beginner 8:00-9:00
9:00		Opening Ceremony 9:00-9:30	Plenary Session 2A 9:00-10:00	Plenary Session 3A 9:00-10:00	Plenary Session 4A 9:00-10:00	Plenary Session 5A 9:00-10:00
10:00	IRPA Associate Societies' Forum 10:00-17:45	Plenary Session 1A (Sievart Awards) 9:30-10:30	Coffee Break 10:00-10:30	Coffee Break 10:00-10:30	Coffee Break 10:00-10:30	Coffee Break 10:00-10:30
11:00		Coffee Break 10:30-11:00	Oral Session/Special Session(2A) 10:30-12:00	Oral Session/Special Session(3A) 10:30-12:00	Oral Session/Special Session(4A) 10:30-12:00	Oral Session/Special Session(5A) 10:30-12:00
12:00		Oral Session/Special Session(1A) 11:00-12:30	Lunch 12:00-13:30	Lunch 12:00-13:30	Lunch 12:00-13:30	Congress Conclusion & Closing Ceremony 12:00-13:00
13:00		Lunch 12:30-14:00	Exhibition 9:00-17:00	Exhibition 9:00-17:00	Exhibition 9:00-17:00	
14:00		Plenary Session 1B 14:00-15:00	Plenary Session 2B 13:30-14:30	Plenary Session 3B 13:30-14:30	IRPA General Assembly Technical Tour	
15:00		Oral Session/Special Session(1B) 15:00-16:30	Oral Session/Special Session(2B) 14:30-16:00	Oral Session/Special Session(3B) 14:30-16:00		
16:00		Coffee Break 16:30-17:00	Coffee Break 16:00-16:30	Coffee Break 16:00-16:30		
17:00		Poster Session 17:00-17:30	Poster Session 16:30-17:00	Poster Session 16:30-17:00		
18:00	Welcome Reception 18:00-	Oral Session/Special Session(1C) 17:30-19:00	Oral Session/Special Session(2C) 17:00-18:30	Oral Session/Special Session(3C) 17:00-18:30		
19:00				Gala Dinner 19:00-		



ロルフ シーベルト賞

(EDUARDO GALLEGO, IRPA副会長)

シーベルト賞は、放射線防護の指導者で開拓者でもあるRolf M. Sievert教授を称えて、放射線防護分野での顕著な貢献が認められた個人に授与されます。当該分野で秀でた受賞者は、次の国際会議で受賞前にシーベルトレクチャーを実施することに同意しなければなりません。

IRPA副会長が議長を務めるシーベルト賞委員会は、IRPA加盟学会から提出された推薦者の評価を担当します。IRPA理事会およびシーベルト賞委員会の現在のメンバーは推薦の資格がありません。伝統に沿って、IRPA15科学プログラムは2020年のシーベルト賞受賞者によるシーベルト講義で開始されることになるでしょう。

Sievert賞のこれまでの受賞者は次のとおりです。

- 1973 Prof. Bo Lindell (Sweden)
- 1977 Prof. W.V. Mayneord (United Kingdom)
- 1980 Dr. Lauriston. S. Taylor (USA)
- 1984 Sir Edward Pochin (United Kingdom)
- 1988 Prof. Dr. Wolfgang Jacobi (Germany)
- 1992 Dr. Giovanni Silini (Italy)
- 1996 Dr. Dan J. Beninson (Argentina)
- 2000 Prof. Dr. Itsuzo Shigematsu (Japan)
- 2004 Ing. Abel J. Gonzalez (Argentina)
- 2008 Prof. Christian Streffer (Germany)
- 2012 Dr. Richard Osborne (Canada)
- 2016 Dr. John Boice (USA)



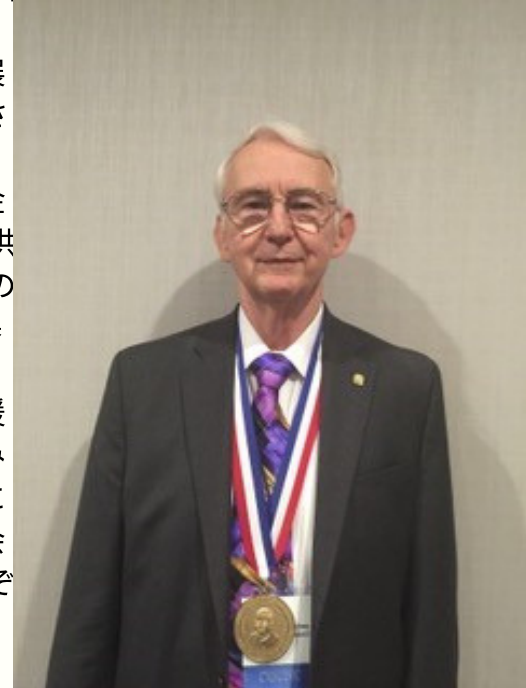
Prof. Rolf M. Sievert [1896 – 1966]



IRPAモントリオール基金

(IRPA会計担当、RICHARD. E. TOOHEY)

モントリオール基金は、1992年5月にモントリオールで開催された第8回IRPA国際会議からの純収入で、カナダ放射線防護学会（CRPA-ACRP）によって創設されました。その基金については、若手専門家、特に発展途上国の専門家が将来IRPA会議へ参加を支援するようCRPAから指示されています。CRPAはその資金をIRPA資金に譲渡し、その資金はIRPA運営資金とは別の有利子口座に維持されています。モントリオール基金への寄付はIRPA加盟学会によって行われ、会費の通知が加盟学会に提供されるときに毎年会計係から要請されます。この基金は、IRPA理事会の3名のメンバーとIRPA会計の非投票メンバーとしてのモントリオール基金委員会によって運営されています。IRPA国際会議または地域会議の前の年、モントリオール基金委員会は、会議主催者にどれだけの資金援助を提供できるかを決定します。資金は受領者の登録および旅費にのみ使用することができ、レセプション、ランチ、または他の会議の行事には使用することはできません。モントリオール基金の支援を受けた大会が終了した後、大会の主催者はIRPA会計担当者に支援の受領者、それぞれが受け取った金額、および支出した金額の一覧を提出しなければなりません。



2019年HPSウィリアムモーガン講演賞

(IRPA理事BERNARD LE GUEN)

IRPAの理事であるBernard le Guenは、全ての大陸を横断して、病院における安全と放射線防護文化を育む活動への貢献が認められ、2019年2月下旬に米国サンディエゴで開催された第52回保健物理学会中間会議で、ウィリアムモーガン講演賞を受賞しました。この活動は、IRPA、WHO、IAEA、およびIOMPが共同で発刊したこれらの課題に対する専門的なガイドを提供することを目的としています。より具体的には、ガイドでは6つのワークショップで提供された良い事例と悪い事例を強調しています。ガイドは、2020年5月にソウルのIRPA15でも発表されます。





国際非電離放射線防護委員会

(IRPA理事 KLAUS HENRICHS)

国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) は、有害な非電離放射線(NIR)被ばくから人々と環境を守るためのNIRの影響に関する科学的助言とガイダンスを提供しています。

ICNIRPは、世界保健機関 (WHO) と国際労働機関 (ILO) によって承認された独立した非営利団体です。その他にも、欧州連合 (EU) とその総局、国際および医療機関、そして各国の放射線防護団体との強い関係を築いてきました。IRPAとICNIRPは、強力な歴史的結びつきによって繋がっており、現在は制度的パートナーシップと、特にIRPA理事会および各地域の学会との密接な協力関係によって結びついています。ICNIRPは、IRPA第7回国際会議で1992年に独立委員会として設立されました。ICNIRPの始まりは、IRPAが第3回IRPA国際会議で非電離放射線防護に関するセッションを開催した1973年、そしてICNIRPの直属の国際非電離放射線委員会 (INIRC) が設立された1977年に遡ります。今日、コラボレーションによる大きな効果は、文書の相互コンサルテーション、選挙への候補者の推薦、および会議やワークショップへの参加を通じて達成されています。

ここ数年で最も優先されたトピックの1つは、組織全体にわたって、そして電離放射線から非電離放射線までのスペクトルにわたって用語と原則の共通理解を得ることを視野に入れた放射線防護のためのシステムの開発です。これはICNIRPが電離放射線防護の長い歴史からかなりの恩恵を受けている分野であり、そこではそのような枠組みが何十年にもわたって開発され改良されてきました。

4年ごとに、ICNIRPはIRPA会議のNIRセッションにICNIRPの活動報告を発表したり、優先度の高いNIRトピックに関する早朝講義やレクチャーを行うことで貢献しています。2020年には、韓国のソウルで開催されるIRPA会議と並行してICNIRPの国際NIRワークショップが開催されます。現在最も関心を集めているNIRのトピックの1つは、新しいICNIRP RFガイドラインです (2019年に発行予定)。レーザー、紫外線、短波に関連する防護の課題、および化粧品への応用に関する声明も、そこにはっきりと提示されていますwww.icnirp.org/ja/workshops/article/workshop-nir2020.html。ICNIRPは地域のIRPA会議にも頻繁に参加しています。

ICNIRPは、主にHealth Physicsに発表されているガイドラインと声明を通して、そのアドバイスを拡張します。これらの文書はすべてwww.icnirp.orgから無料で入手できます。

ICNIRPは、非電離放射線防護の原則および科学に基づくガイダンスに関しては、評価の基準および知識の交換の場として機能します。IRPAコミュニティ (同僚、実務者、科学者、医師など) からの放射線防護に関するアドバイスの使用による応答は貴重であり、ICNIRPの勧告およびNIR防護体系全体をさらに改善することが期待されています。





放射線防護協会（SRP） - 英国の加盟学会

（SRP会長、AMBER BANNON）

2018年にSRPは新しい戦略計画を採用しました<https://srp-uk.org/about-us/overview>。これの中心にあるのは、学会がその5年の期間の終わりになっていたいと望む願望的なビジョンです。私たちは、リソースと組織の問題を中心とした Enabling Strategiesによってサポートされる一連の委員会付託として提示された幾つかのコア戦略を通してこれを実現することを計画しています。この計画には3つの優先事項があり、これらが学会を強化し成長させるでしょう。すなわち、会員資格、専門基準および公衆の利益です。SRPは、2100を超える会員を擁する大規模な学会であり、組織構造をより効果的かつ集中的に変更するために必要な計画を実行できるようにするためのものです。学会の24の委員会は現在4つの局—委任、運営、専門的な基準、科学技術—に組織され、評議会に直属します。

私たちの重要な目的の1つは、私たちが政府、イギリスのコミュニティ、そして国際的に高く尊敬されるように、私たちの知名度を上げることです。2017年に私達の最初の後援者、Berriew 大英勲章第3位のカール卿が任命されたことはこれに有益であることを証明しています。彼は英国議会の上層である貴族院の独立会員です。去年は、欧州連合からの撤退のための英国の立場に関連する放射線防護の問題、結果および選択肢について、学会が政府に意見を提供する忙しい時期でした。このプロセスの一環として、いくつかのポジションペーパーを発行しました。 <https://srp-uk.org/publications/position-papers>

多様な経歴とあらゆる経歴段階から多数の会員を引き付け、維持することは、本学会の利益にとって基本です。SRPのような歴史的学会は大学院会員制に焦点を当ててきましたが、技術スタッフをよりよく受け入れ、彼らのキャリア開発を支援し、彼らの職業的地位を認識することへの需要が高まっています。私たちのメンバー（とその雇用者）にとって、彼らのキャリアのあらゆる段階で彼らがプロとして認められ、全国的に合意された基準に対する彼らの能力を証明できることは重要です。この目的のために、私たちは勅許の下で、独立した団体である放射線防護評議会（RPC）を設立し、認定された専門家の称号の授与を監督および管理しています。 <https://srp-uk.org/news/article/214/amendments-to-srp-s-charter>

私たちのRising Generations Group（RGG） - 彼らのキャリアの最初の10年間のメンバーを支えること - は、その未来であり、私たちの戦略計画の重要な部分である私たちのアウトリーチプログラムの大部分を担うという点で、学会の重要な要素です。プログラムは情報ポスターなどのWebベースのリソースから、授業計画や簡単なデモンストレーション用機器を含むスクールパックまで、生徒、教師、一般の人々を対象とした4日間にわたる大規模展示会でのインタラクティブ実験への参加まで広い範囲をカバーしています。

最後になりましたが、重要なことは、私たちが国際的なイニシアチブに存在感を示し、貢献することを確実に行うことです。これは、主にIRPAを通じて、英国パートナー協会<https://srp-uk.org/resources/srp-and-partner-societies>と連携して行われます。私たちの次期理事とRGG委員長が、IRPAの若い世代ネットワークの立ち上げを可能にしたリーダーシップ委員会の一員であることを特に嬉しく思いました。すぐに彼らは未来のビジョンに貢献するでしょう。





ペルー放射線防護学会

(SPR会長 EDUARDO MEDINA GIRONZINI)

ペルーの放射線防護学会（SPR）は1987年4月2日に創設されました。26人の熱心な創設メンバーがさまざまな活動を通して国内の放射線防護を改善するための行動を実行する目的でSPRを立ち上げました。SPRはラテンアメリカで3番目にスタートした放射線防護学会であり、1989年以来IRPAの加盟学会です。

初めからSPRは非常に活発でした。SPRは7つの国内および2つの地域ラテンアメリカの放射線防護会議、医学における放射線防護に関する国際シンポジウム（Arequipa、2017）、患者の放射線防護に関する議論に捧げられた特別の6日間、放射線防護に関する2ペルー - チリの二国間会議医学における放射線防護に関するペルー・エクアドル隔年会議、および国内外の様々な都市における放射線防護問題に関する他の多くの会議を運営しました。SPRは様々な国家規格に関するコンサルタントとして関与しており、毎年開催され配信されている多くのコースに基づく放射線防護教育および訓練における資料とも見なされています。

SPRはそのメンバーが彼らの知識を改善して更新するために異なる地域および国際的な技術的なイベントに参加することを奨励します。SPRは1993年に発足したラテンアメリカ・カリブ海地域放射線防護連盟（FRALC）を創設するイニシアチブをとり、現在は11の放射線防護学会が加盟しています。SPRは、イベロアメリカの放射線防護科学団体グループ（GRIAPRA）のメンバーでもありました。SPRはラテンアメリカで他の放射線防護学会の設立を促進し、それらすべての恒久的なコミュニケーションを維持しています。SPRはラテンアメリカの他の放射線防護学会にあわせて、地域で毎年4月15日に祝うために放射線防護デーの創設を推進しました。

1995年以来、SPRは放射線防護の出版物に特化した図書館と多くの活動を実行するためのすべての機器がある独自の本部を持っており、それは会員や学生のメンバーや相談のために開かれています。

現在SPRには活動に携わっている会員が60人います。SPR若手専門家ネットワークが設立されて以来、若者は恒久的に組み入れられています。SPRのメンバーになるための要件の1つは、他のメンバーに放射線防護問題に関する研究を口頭発表することです。SPRの理事会は2年ごとに更新され、これによりすべてのメンバーがSPRに直接参加し参加する機会が与えられます。



(第2回放射線防護に関するペルー - チリの二国間会議)



会議とワークショップ

1. カナダ放射線防護協会（CRPA）年次総会は、2019年5月27日から30日にオンタリオ州オタワで開催されます。会議のテーマは、地域とのつながりです。詳細については、<http://crpa-acrp.com/home/>をご覧ください。



2. 放射線防護学会（SRP）年次総会は、2019年5月21日から23日にかけてスカボローで開催されます。ICRP議長のClaire Cousins博士がDunster講演を行います <https://srp-uk.org/events/SRP2019AnnualConference>